

令和5年度学校評価アンケート(生徒・保護者)考察

1 学校評価質問数について

令和5年度の学校評価アンケート質問数は、生徒対象41、保護者40で実施いたしました。昨年度から市共通質問18に学校独自の質問23~20を加え、生徒、保護者の立場から回答を比較できるよう取り組んでいます。デメリットとして質問数が多くなり回答者の負担があるが想定されますが、今後年次毎に精査し、学校改善のために必要な質問項目で取り組んでいきたいと思っております。

2 学校評価回答数

回答数を見ると、生徒との回収率は86%(昨年度91%・-5%減)で、保護者アンケートの回収率は全校保護者で58%(昨年度58%・±0%)の結果でした。内訳を見ると、学年毎の回収率に格差がありました。各学年・学級の回収率は、1年生が回収率55%(昨年度71%)、2年生が回収率56%(昨年度43%)、3年生が66%(昨年度62%)、8組が42%(昨年度46%)の状況でした。

アンケートはGoogleフォームを使用して、スマートフォン等での回答と、3者面談時にプリントによりQRコードを印刷して配布を行い依頼しましたが、結果回収率が横ばい状況です。今後も継続して保護者の皆様に声かけを行い回収率を高める努力を継続していきたいと思っております。ご協力をお願いいたします。

3 回答肯定率の比較 ※ アンケート結果の一覧については、別紙にてご参照ください。

(1) 肯定率80%以上の肯定率数 ※()は昨年度

肯定率の数	生徒質問数41	保護者40
80%以上の肯定率数	39(37)	16(12)
50%以下の肯定率	0(0)	1(1)
全質問の肯定率平均値	90%	75%

- 1) 質問に対する生徒の肯定率数が多い状況で、全質問に対しての肯定率の平均値も生徒が90%、保護者75%の結果で、生徒の肯定率が高く教育活動全般に満足していることがうかがえます。
- 2) 生徒、保護者の肯定率の数や肯定率の平均値に差があることを推察すると、第1に、保護者が学校生活の様子を直接目にする機会少ないこと、第2に、生徒が思春期を迎え、生徒から保護者への連絡や報告等の共有が円滑でないこと、第3に、学校からの便りが保護者の手元に届かないことや、HP等の発信等が遅れている等、学校からの教育状況の提供をさらに推進していくことの必要を感じました。

今後も、保護者の情報発信を適宜実施して、情報の共有とともに教育活動への理解のため推進に努めてまいります。また、各ご家庭でも配布プリント等のお子様への声かけをお願いいたします。

4 学校評価の考察

(1) 2023年度学校経営方針との関連

2023年度は「生徒の良さや可能性を引き出す教育活動を目指す。(安心・安全を土台として)」を学校経営方針に掲げ取り組んでまいりました。

取り組みの重点は、「生徒が安全・安心して生活できること」「一人一人の生徒の学びの力を伸

ばすこと」「仲間との集団での生活で協力の大切さや友情を育むこと」ことです。そしてそのためには「生徒の良さや可能性を引き出す教職員が生徒から信頼されていること」がとても大切であると考え「生徒に寄り添う」を教職員のスローガンとして教育活動に取り組んでまいりました。

今回の学校評価・生徒アンケートを参考に1年を振り返る中で、以下の4つのアンケート結果の肯定率が高い値であったことは大変励みになる評価でした。

- 1) 質問項目No19「学校は、落ち着いて生活、学習できる雰囲気である。」 肯定率87%
- 2) 質問項目No26「私は、各教科の学習で基本的内容が身についた。(備考)授業で「できた・わかった」と感じることもある」 肯定率97%
- 3) 質問項目No22「私は学校行事に対して意欲的に取り組むことができている」 肯定率94%
- 4) 質問項目No37「先生は、生徒を褒める・認める指導をしている。(備考)先生はみんなの気持ちを受け止め、相談に応じてくれる」 肯定率95%

今後も、「生徒に寄り添う」を教職員のスローガンとして気持ちを引き締め、「安全安心」を土台として、「学び」の主体性と「集団生活」での人とのつながりを広げ深めていけるよう「生徒に寄り添う」を大切にしながら、指導や支援に取り組んでまいります。

(2) 考察の進め方

学校評価アンケートの考察では、「肯定率の上位」と「下位」を抽出して、昨年度との比較(経年推移)を生徒・保護者のそれぞれの立場による肯定率を比較して考察を進めてまいりました。

1) 肯定率の上位5つ ※黄・緑・水色・灰色は生徒の項目と共通する項目

No	生徒	保護者
1	No4 学校は、保護者会や学校公開、学校行事などで教育活動を公開している。96% (昨年度)No3 保護者や地域の方に対して情報を発信している 96%	No4 学校は、保護者会や学校公開、学校行事などで教育活動を公開している 95% (昨年度)No4 保護者会や学校公開、学校行事などで教育活動を公開 92%
2	No3 学校は、保護者や地域の方に対して情報を発信している。97% (昨年度)No4 保護者会や学校公開、学校行事などで教育活動を公開 95%	No3 学校は、保護者や地域の方に対して情報を発信している。89% (昨年度)No20 子どもは学校が楽しい。92%
3	No11 私は、学校のきまりや家庭でのきまりを守っている。96% (昨年度)No37 先生は、生徒を褒める・認める指導をしている。95%	No2 学校は、保護者や地域と一体となって子どもたちを育てている。89% (昨年度)No13 交通事故防止や不審者対応などの安全意識が身についている。90%
4	No26 私は各教科の学習で基本的内容が身についた。97% (昨年度)No32 私は、清掃や奉仕活動に積極的に取り組んでいる。95%	No18 学校は、落ち着いて生活、学習できる雰囲気である。89% (昨年度)No22 子どもは学校行事に対して意欲的に取り組むことができている。87%
5	No23 学校の各教科の指導は適切である 96% (昨年度)No28 授業では、ペアワークや話し合い活動が多く取り入れられている。95%	No11 子どもは、学校のきまりや家庭でのきまりを守っている。89% (昨年度)No3 保護者や地域の方に対して情報を発信している 86%
備考	※その他の肯定率 95%(12項目) (昨年)6項目	以下。肯定率 80%以上の 11項目あり。

2) 肯定率上位の項目の考察

- ① 質問「No4 学校は、保護者会や学校公開、学校行事などで教育活動を公開している」についての肯定率は生徒 96%、保護者 95%で肯定率が高いの結果でした。

考察は、今年度当初は新型コロナ感染防止のため、学校では教育活動の公開の在り方を様々検討してまいりました。現在も、新型コロナ、インフルエンザ等への感染が無くなったわけではありません。次年度も感染防止への配慮をして生徒の健康の維持・増進に取り組みながら、より多くの機会を公開できるよう取り組んでまいります。ご理解をお願いいたします。

② 質問「No3 保護者や地域の方に対して情報を発信している」についての肯定率は生徒 96%、保護者 89%で肯定率が高い結果でした。考察は、以下のア、イの通りです。

ア) HP の日常の学校生活の様子の更新がなされていることや、すぐメールによるタイムリーな配信がなされていること。

イ) 学校・学年便りを定期的に発行・配布できていること。

今後は、学校・学年便り等を HP に掲載する等、本校の教育活動に関連する文書を掲載し、さらに情報発信に努め、開かれた学校づくりを推進して参りたいと思います。

③ 質問「No11 私は、学校のきまりや家庭でのきまりを守っている」についての肯定率は生徒 96%、保護者 89%の結果でした。

考察は、学校は集団で生活する場であることや、生徒一人ひとり、各ご家庭の皆さんがそれぞれの考え方を持っていることを念頭にいたしました。

生徒が安心安全して学校生活を過ごしていくためには、生徒はもちろん、保護者の皆さんをはじめ本校に係る皆さんの考え方の衝突を避け、対話を大切にしながら、生徒が円滑に学校生活を過ごすことができるよう運営していくことが大切です。そのためには、規範意識やマナーが共有され、コミュニケーションを充実させていくことが必要です。一方、生徒の個性を阻害することには最大の配慮が必要と考えています。今後も、今あるきまりを遵守しながら、きまりやマナーの意義を振り返り、生徒が充実した教育活動を享受し主体的に生活できる視点を大切にして、適宜検討しながら教育活動に取り組んで参ります。ご理解ご協力をお願いいたします。

④ 質問「No26 私は各教科の学習で基本的内容が身についた」についての肯定率は生徒 97%(昨年度 93%)、保護者 68%(無回答 19%、昨年度 68%)の結果でした。着目は昨年度との経年推移で肯定率が生徒+4%増加したことです。

また、質問「No23 学校の各教科の指導は適切である」についての肯定率は生徒が 96%(昨年度 95%)、保護者 79%(昨年度 73%)の結果でした。

今年度、校内の教員研修で「考え広げ深める発問の在り方」また、町田市スタンダード授業改善シートを活用して、授業をデザインする 8 つの取り組みの内「見通しをもたせる導入」「価値ある対話の共有」「振り返りの設定」「ICT の活用」の 4 点を重点に実施して参りました。

多くの生徒が肯定的(肯定率 96%)に捉えていることは指導・支援する教員にとっても励みになる肯定率の値です。

しかし、保護者の皆さんの肯定率が No26=68%、No23=79%で生徒と比べて低くなっていることは、学習指導の結果(定期考査等)と結びついてないことや、「さらなる学びの取り組みの工夫により生徒の資質・能力をさらに高めることができる」という指導・支援する教員への期待のためと受け止められます。

学校は学びの場です。生徒の意欲や関心、主体性を高め、今後も各教科の学習で基本的内容が定着し定期考査等の結果に結びつくよう、生徒が「できた・わかった」を体感できる授業づくりを行い、学びの充実に取り組んで参ります。

⑤ 質問「No2 学校は、保護者や地域と一体となって子どもたちを育てている」についての肯定率は生徒 94%(昨年度 89%)、保護者 89%(昨年度 83%)の結果で生徒・保護者ともに肯定率が増加しました。

今年度は、小中学校での連携に加え、山崎高校の先生方を加え、挨拶運動や授業研修の取り組みを開始しました。コロナ禍を脱し、学校同士の連携はじめ、保護者や地域と一体となって子どもたちを育む環境づくりにも工夫して取り組んで参ります。

- ⑥ 質問「No19 学校は、落ち着いて生活、学習できる雰囲気である」についての肯定率は生徒 87%(昨年度 87%)、保護者 89%(昨年度 85%)の結果でした。

生徒が落ち着いて生活、学習できる環境や雰囲気づくりに配慮し、安全安心の基盤を構築することを念頭に取り組みを継続して参ります。

2) 肯定率が下位の5つ

No	生徒	保護者
1	No7 私は学校ですすんで読書をしている。82% (昨年度)No6 宿題や家庭学習に積極的に取り組んでいる。73%	No7 すすんで読書をしている。46%(昨年度 50%)
2	No6 私は宿題や家庭学習に積極的に取り組んでいる。83% (昨年度)No8 英語学習に楽しく取り組んでいる。75%	No8 子どもは英語学習に楽しく取り組んでいる。52% (昨年度 53%)
3	No15 私は日常的に、運動やスポーツ(遊びや部活動を含む)に積極的に取り組んでいる。84% (昨年度)No15 日常的に、運動やスポーツに積極的に取り組んでいる。75%	No40 学校は教員と生徒が向き合う時間が十分に取れている。53% (昨年度)No29 数学・英語の少人数授業は、私に効果がある。59%
4	No8 私は英語学習に楽しく取り組んでいる。89% (昨年度)No7 すすんで読書をしている。76%	No6 子どもは、宿題や家庭学習に積極的に取り組んでいる。62% (昨年度)No15 日常的に、運動やスポーツに積極的に取り組んでいる。60%
5	No33 放課後学習教室や未来塾は生徒に有効である。89% (昨年度)No17 七国山小学校と連携して教育活動に取り組んでいる。83%	No27 学校の授業ではペアワークや話し合い活動が多く取入れられている。62% (無回答 28%) (昨年度)No27 授業では、ペアワークや話し合い活動が多く取り入れられている。61%
備考	他の回答項目の肯定率は全て 84%以上。	他の回答項目の肯定率は、67%以上。

- ① 質問「No7 私は、学校で、すすんで読書をしている。(備考)朝読書の通年実施。図書室の活用。休み時間の読書頻度」の肯定率が生徒 82%(昨年度 76%)、保護者 46%(無回答 8%、昨年度 50%)の結果でした。

考察すると、生徒の肯定率が上がったものの、保護者の肯定率が減少して低い値であることがわかりました。

また、合わせて、生徒を対象にした読書に関するアンケート「私は学校の読書で1ヶ月に、A 2冊以上の本を読書し、友人に発信することができた。B 1冊以上の本を読書し、友人に発信することができた。C 1冊以上の本を読書することができた。D 1冊以上の本を読書することができなかった。」で、生徒の朝読書の量が減少していることがわかりました。

読書は、①「考える力」「感じる力」「表す力」等を育てるとともに、豊かな情操を育み学習の基礎になるとなる。②1日の始まりに授業に参加する心身の準備づくりとして実施しています。

生徒の皆さんには各自の取り組みを振り返り、前向きに朝読書や家庭で本に親しむ習慣づくりをすすめて欲しいと思います。また、学校では、今後も朝読書とともに、本の紹介(ブックトークやビブリオバトル)をの継続して生徒が本に触れる機会が多くなるよう取り組んでいきたいと思っています。各ご家庭でも生徒への声かけをお願いいたします。

- ② 質問「No6 私は、宿題や家庭学習に積極的に取り組んでいる。」の肯定率が生徒 83%(昨年度 72%)、保護者 62%(昨年度 62%)の結果でした。

考察すると、生徒の肯定率に比べ保護者と教職員の肯定率が低いことがわかります。変化の大

きい時代に生きる生徒に、「必要なことを主体的に学ぶ姿勢を身に着け欲しい」という思いは、大人が共通して願うことです。主体的に家庭学習に取り組むためには「なぜ学ぶのか」の動機付けを継続して働きかけるとともに、生徒自身の「なぜ学ぶのか」という理解と意欲、そして実行力を育む必要があります。

また、宿題等の課題を期限までに提出する等は、社会性を身に着ける点でも意義のあることです。生徒の皆さんには、今後も、学習で基礎的な力を身に着けるために家庭学習の習慣を定着することに取り組んで欲しいと思います。学びは自学自習することで定着し、さらに興味関心を高めていきます。ご家庭での声かけや習慣づくりにご協力をお願いします。

- ③ 質問「No15 日常的に、運動やスポーツに積極的に取り組んでいる。」については、生徒の肯定率が86%(昨年度75%、+11%)、保護者69%(昨年度60%、+9%)で、それぞれの立場で開きがありました。

コロナ禍を脱し、生徒・保護者の肯定率は増加傾向でしたが、保護者の肯定率は生徒に比べて低く、また生徒と教員との肯定率の差で教員が-27%減少していることに着目しました。

考察すると、コロナ禍で運動の機会が失われていましたが、今年度、生徒は運動やスポーツができるようになったと受け止めていると推察しております。一方、教員は、「まだ、コロナ禍以前には戻っていない」と捉えていると思われます。

今後も、体育科を中心に生徒の心身の状況にあわせて、主体的に運動・スポーツを親しむライフスタイルの定着とその支援。また、健康の維持と体力向上を目指す教育活動に努めていきたいと思ひます。

- ④ 質問「No8 英語学習に楽しく取り組んでいる。」については、生徒の肯定率は89%(昨年度75%・+14%)、保護者52%(昨年度53%・-1%)の結果でした。

生徒の肯定率は昨年度より+13%増加して、楽しく関心を高めて学習している様子が見えがえがえ。一方、保護者の肯定率が生徒と開きがあることは、「結果と結びついていないこと」等、生徒が楽しく取り組んでいる中にも次なる取り組み課題を目指す必要を感じました。指導方法を振り返り、課題が明確になるよう授業改善に取り組んで参ります。

また、関連質問項目の質問「No29 数学・英語の少人数授業は効果がある」の肯定率は生徒90%(昨年度91%)、保護者67%(72%)の結果でした。

少人数指導は2クラスを3展開、1クラスを2展開で定期的にクラスメンバーを変えて実施しています。また、数学は、定期考査等を資料として習熟度に配慮してクラス編成するとともに、英語では授業で、会話等のペアワークが円滑にできるようクラス編成しています。保護者の皆様にも少人数指導について理解していただけるよう学年保護者や教育相談の機会に発信できるよう努めていきたいと思ひます。

3 結びに

生徒・保護者の皆さん、また学校運営協議会委員の皆さん、学校評価アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。

今年度のアンケート結果を生徒ファーストの視点で考察すると、生徒の肯定率が90%以上の項目が多くあり、充実した学校生活を過ごせている様子が見えがえがえ。一方、細部に眼を向けると、「変化の大きな時代に生きる生徒の資質や能力をさらに育てて欲しい」という保護者の皆さんや学校運営協議委員の皆さんの本校教育活動への期待や願いとして受け止められる考察も行うことができました。まもなく、令和5年をおえ6年度を迎えます。アンケートをもとに「生徒の良さや可能性を引き出すこと」のできるよう学校改善に教職員一丸となって取り組んで参ります。引き続きのご支援をお願いいたします。